

## 農村振興局長賞

こざがわ  
農事組合法人古座川ゆず平井の里（加工部）

こざがわちょう  
（和歌山県古座川町）

代表作品「古座川の柚子たれ」

地域のゆず生産組合の女性たちが、ゆずの搾汁残渣を活用した加工活動を行うために昭和60年に結成した婦人部が前身のグループである。平成16年に生産組合や生活改善グループとともに農事組合法人「古座川ゆず平井の里」を組織し、婦人部は同組合の加工部として再出発した。

法人化に際して新たに募集したメンバーを加えた14人の加工部員によって、婦人部時代に開発した商品も含めた20品目の加工品を製造している。通信販売と一般の小売店や量販店、直売所等への卸販売による年間の売上は1億円に達しているほか、生活改善グループが前身である料理部と連携した慶弔用の仕出し弁当の注文製造、体験交流部と連携した加工体験教室等も行っている。

法人化後、Uターン・Iターンによる若い女性の新規加入もあり、高齢化率が40%を超える山間地にあって、若者の定住を支える貴重な地元就労の場ともなっている。



加工品の数々



ゆずの皮の加工